



DoRAT

創刊号

2015年11月発行No.01

東日本大震災

杖・手すり、生活基盤を奪われた災害弱者。たくさんの人たちが発災直後からリハビリを必要としていた。

北海道災害リハビリテーション推進協議会

設立趣意

2011年3月11日の東日本大震災による甚大な被害は、皆様の記憶に強く残っており、その復興が未だ十分とは言えない状態であることは、報道等などでも周知のところ。今回の災害の特徴は、大地震に引き続き起こった大津波によって多数の方々が落命されたこと。更にリハビリテーションの見地からは、杖やその他福祉用具などを常用されていた方たちを含め、多くの災害弱者がその生活基盤・生活用具などを奪われ、その後の避難所・仮設住宅生活において、生活不活発病を基にした種々の疾患を発症した点です。

これらは、今後の大規模災害時における支援活動には救命救助のみならず、発災早期から、リハビリテーションを提供する重要性を示していました。そこで、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）では全国規模で災害リハビリテーションコーディネーター養成研修を行い、災害リハビリテーションに関するネットワークの構築およびDMATと連動した活動が可能なJRAT

の育成を行い、来る大災害に備えていくこととなりました。

そこで北海道でもこれら全国規模での動きに連動し、来る大規模災害時にDMAT・JRAT等との連携の下で適時適切に支援活動に参加できるような素地づくり（ネットワーク作り、研修会実施、教育・啓発など）を行うために、リハビリに関わる団体が一堂に会し、北海道災害リハビリテーション推進協議会（DoRAT）を結成することとなりました。



代表 石合純夫
札幌医大リハビリテーション医学講座教授



副代表 橋本洋一
苫小牧東病院理事長、北海道医師会常任理事

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)参加団体

- ・日本リハビリテーション医学会
- ・日本理学療法士協会
- ・日本作業療法士協会
- ・日本言語聴覚士協会
- ・日本リハビリテーション病院・施設協会
- ・全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会
- ・全国デイ・ケア協会
- ・全国訪問リハビリテーション研究会
- ・全国地域リハ支援事業連絡協議会/全国地域リハビリテーション研究会
- ・日本義肢装具学会
- ・日本介護支援専門員協会
- ・日本義肢装具士協会

JRAT

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5
日本理学療法士協会内

03-6804-1422

ホームページ
<http://www.jrat.jp/>

DoRAT

〒064-8557

札幌市中央区円山西町4丁目7-25
医療法人溪仁会 札幌西円山病院内

011-642-4121(代)

担当 井上真奈美

メール
teamdorat@gmail.com
ホームページ
<http://dorat.jimdo.com/>



[第4回 研修会のお知らせ]

避難所における リハビリテーション支援 Vol.2

本年度は、避難所におけるリハビリテーション支援を考えることをテーマに研修会を行っており、今回はその第2弾となります。まず、車いすユーザー当事者からみた避難所についての講演を、日本筋ジストロフィー協会北海道地方本部本部長の竹田保様にお願いしました。更に第3回でも体験させて頂いた避難所運営ゲーム (HUG)の北海道版を、第4回でも試行させて頂くことになりました。北海道ならではの事

象を考え、さらには車いすユーザー当事者のご意見も伺いながら、北海道における避難所運営の課題を、参加者みんなで考えていきたいという趣旨です。北海道版HUGは、北海道大学大学院工学研究院、准教授の森太郎先生を始め、北海道総務部 危機対策局危機対策課 防災グループ主査 (防災教育)、國田 博之様にご協力を得て行います。試行版の為、参加人数に限りがございます。参加希望の方はお早めにお申し込みください。

日時

平成 27 年 12 月 5 日 (土) 13:30 ~ 17:30

場所

札幌市医師会館 5F 講堂

申込

E-mail teamdorat@gmail.com

件名: 研修会申込

①氏名②電話③ Email ④職業⑤勤務先⑥所属

⑦交流会参加⑧ DoRAT からのお知らせ希望

担当: 札幌西門山病院 井上真奈美

締切: 12月1日 (火)



災害リハビリの目的とこれまでの活動

動き始めた「災害リハビリテーション」。この「災害リハ」を担うべく、各都道府県でリハ専門職を中心とした団体が設立され動き始めています。その目的のひとつは、来るべき大規模災害時に活躍できる「災害リハビリテーションコーディネーターの養成」です。災害時要援護者は、高齢者・障がい者・障がい児・認知症など状態により必要な支援が異なります。混乱した現場で少しでも充実した支援を行うためには、



工藤 篤志 (羊ヶ丘病院 理学療法士)

リハ専門職としての視点が必要で

すが、これまでこの視点が手薄であったと言われています。災害リハコーディネーターは、災害時要援護者を主な対象とし、



生活不活発病の予防に努める災害リハ活動を円滑に行うための調整を行います。その活動は多岐に渡ります。まず、要援護者の方々は自ら要援護者であることを発信しませんので、避難所やご自宅を回りリハ専門職の視点でそういった方々を掘り起こしていく必要があります。時間と共に状況が刻々と変化していく現場で情報収集を行いつ

つ、他の職種の方々と連携を図りながら、次々入れ替わる支援のリハ専門職が最も効率よく活動できるように調整を行い、また必要な支援がある場合、その発信を行います。DoRATでは設立以来、3回の研修会を開催してきました。しかし「災害リハビリ」は、まだ十分に認知されていない状況であり、「啓発」「養成」「既存団体との連携」を具体的な目標として活動を行っています。



櫻井 貴之
(札幌西門山病院 言語聴覚士)

研修会履歴

第1回	平成 26 年 3 月 24 日	災害リハビリテーションコーディネーター養成研修報告会
第2回	平成26年11月22日	大規模災害時の支援活動
第3回	平成27年5月16日	避難所におけるリハビリテーション支援



発刊にあたって

「災害リハビリテーション」の必要性・重要性は一度ご理解頂ければ皆様納得頂けると考えています。北海道災害リハビリテーション推進協議会 (DoRAT) は、平成 26 年 3 月 24 日に発足し、これまでの研修会開催を中心に活動を行って参りましたが、認知度はまだまだ充分とは言えない状態です。より多くの皆様にご



理事長 光増 智 (中村南記念病院 医師)

理解頂き、また、既にご参加頂いている皆様へのご報告を兼ね、年 2 回の広報誌を発刊することとなりました。充実した情報の架け橋となるよう発行致します。どうぞよろしくお願い致します。

研修会後援団体

北海道 札幌市
北海道医師会 札幌医師会
(公社) 北海道看護協会
(公社) 北海道理学療法士会
(公社) 北海道作業療法士会
北海道言語聴覚士会
北海道介護支援専門員協会
日本義肢装具士協会北海道支部
北海道歯科衛生士会
北海道新聞 北海道医療新聞社

発行: DoRAT (北海道災害リハビリテーション推進協議会)

ホームページ: <http://www.dorat.jimdo.com/> メール: teadorat@gmail.com